



『飛ぶ教室』

エーリヒ・ケストナー／作 池田香代子／訳
岩波書店

始まりはクリスマスの少し前。ドイツ、ギムナジウムの寄宿舎が舞台。個性あふれる5人の少年を中心に、様々な事件や魅力的な教師との関わりを通して彼らの成長を描きます。大切なものはいつの時代でも変わることがないということをそっと教えてくれます。



『夏の庭—The Friends—』

湯本香樹実／作
徳間書店

小学校最後の夏、お葬式から帰った山下君の一言から“死んだ人”に興味を持った3人の少年は、死が間近ではと噂される近所のおじいさんを見張ることに。ところが、おじいさんはだんだん元気になって…。少年たちの忘れがたい夏の物語。



『なによりも大切なこと』

あさのあつこ／著
PHP研究所

10代はいろんなことを考え、変わっていく…。若い世代に圧倒的な人気を誇る作家が作品に込めた10代への思い。読者へのドキドキする言葉、語りかけるようなあたたかい言葉で綴られたメッセージブック。



『ナルニア国物語』全7巻

C.S.ルイス／作 瀬田貞二／訳
岩波書店

4人の兄弟が入り込んだ大きな衣装ダンス。その奥には雪の降り積もる別世界が広がっていました。想像の国「ナルニア」の誕生から滅亡までを描いた壮大なファンタジーです。第1作「ライオンと魔女」から第7作「さいごの戦い」まで読む人を夢中にさせます。